

IAUDの会報は、UDにしたい

会報のUDはどこまでできるか!

IAUD会報とは

IAUDの活動と専門知識を蓄積・共有する紙媒体

会報の役割

- ・内部の基盤固め
- ・方針や活動内容が見える【春夏号】
- ・価値ある知識情報を提供する【秋冬号】

UD開発のコンセプト

IAUD会報ならではのUDを目指す

UD設計

特徴: 予めUD指標と基本設計を実施

- ・和英併記でも読みやすいレイアウト
- ・読みやすい文字の大きさ、フォント
- ・コントラスト・余白率・図版率を最適化
- ・わかりやすさを総合的にチェック

デザイン

- ・読者の興味をかきたてるレイアウトデザイン
- ・快活とした雰囲気表現
- ・視覚的なわかりやすさを促すパターンを工夫

IAUD会報UDガイドライン

- 1 読者理解と会報機能
- 2 使いやすい仕様・材料
- 3 分かりやすい表現・表記
- 4 伝わりやすい誌面構成
- 5 読みやすい文字・組版
- 6 色調やコントラスト
- 7 効果的な図版利用
- 8 多媒体活用と情報保障



創刊号企画段階で、会員の小川印刷(株)のUDガイドライン(和文用)を基に、広報G内で「UD団体の会報」「和英併記」などの条件を加味し、会報のUD基本設計を行い、会報発行毎に改良を加えている。2006年3月

まとめ

- ・IAUDの会報として、ブランドアピールができています
- ・和英併記でのUDな印刷物の事例を示せた
- ・UDガイドラインの有効性が確認できた

今後の課題

- ・現在の「IAUD会報UDガイドライン」の検証・改良
- ・「IAUD会報UDガイドライン」の公表、普及・啓発
- ・会報以外への応用の可能性検討



IAUD会報でのUDガイドライン適用例

4 伝わりやすい誌面構成

文字版面率(誌面に占める文字などの印刷される面積)の設計

和英の間隔を十分にとり、読みやすさを向上



版面

文字版面率70%以下を目標にスタート。和英併記での読みやすさを追究した結果、約60%で実施。

版面

版面

5 読みやすい文字・組版

和文フォントの検討

主要和文書体との比較

小塚ゴシック

読みやすく美しい文字 1234567890 鳥鳥

プロポーショナルが大きく、漢字やかなを美しく見せるフォント

新ゴシック

読みやすく美しい文字 1234567890 鳥鳥

中ゴシック

読みやすく美しい文字 1234567890 鳥鳥

本文組版「小塚ゴシック」

活動概要

第1～4回WGの活動は、理念策定のための情報収集と位置づけ、「人間工学」「人間生活工学」「ユーザビリティ」の3分野の専門家をお招きし、ユニバーサルデザインと各分野との関係性について話をうかがいました。

第5回WG以降は、理念を構築する活動と位置づけ、第5～6回WGでは第4回WGまでの情報に基づき理念の仮説(案)を作成し、定例研究会と共催した第7回WGでその仮説を提示しました。

第8～9回WGで、仮説を提示し、理念の修正し、理念の最終版を作成しました。

■ 次年度への協議会全体

可読性に優れ、会報の性格に合っている。

英文フォントの検討

主要英文書体との比較

Myriad

Universal Design Font 1234567890
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

識別性が高い、シンプルで機能的なフォント

Frutiger

Universal Design Font 1234567890
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

Helvetica

Universal Design Font 1234567890
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

本文組版「Myriad」

■ Summary of Activities for Fiscal 2004 We allotted the first four WG meetings to the collection of information related to drawing up the conceptualization of our activities. We invited three lecturers, each of whom is a specialist in his/her respective field of human factors, human life engineering, and usability, to discuss UD in connection with each field.

From the 5th WG meeting and onwards, we worked on creating this "Concept" of the activities. In the 5th and 6th meetings, we drafted out the preliminary Concept, based on the information gathered up to the 4th meeting, which was presented in the 7th meeting, in conjunction with a regular study session.

In the 8th and 9th meetings, we refined the preliminary Concept and finalized the final Concept. The final Concept was presented at the regular study session.

組版の美しさ、文字の読みやすさで採用。